

人口総数	76,280	世帯数	23,846
男	36,948	面積	16.07km <sup>2</sup>
女	39,332		

# 広報あしや

## ▷ 芦屋市民憲章 ◁

- わたしたち芦屋市民は
- 文化の高い教養豊かなまちをさずきましょう
  - 自然の風物を愛し、まちを緑と花でつみましょ
  - 青少年の夢と希望をすこやかに育てましょ
  - 健康で明るく幸福なまちをつくりましょ
  - 災害や公害のない清潔で安全なまちにましょ
- (昭和39年5月3日制定)

## 新年おめでとうございます



あけましておめでとうございます。みなさまおそろいで、よいお年をお迎えになられたこととおよろこび申しあげます。

わが国の経済が大きな変動を続ける中で迎えた新年は、地方行政にとってもまた、極めて緊迫した情勢にあります。

芦屋市におきましても例外ではなく、地方自治体としての自主性が危機に瀕しているといつて過言ではありません。わたくしは、これを



を試練として受けとめ、これを契機に、長期的な展望をもって市民のみなさまのご協力のもとに打開の道を切りひらいていかねばならないと、決意を新たにいたしました次第であります。

このような厳しい現実の中では、市政に対する市民のご期待は、いっそう高まることでしょう。これにこたえるため、本年も人間尊重、生活優先の基本理念に立って、住みよい芦屋と誇れるまちづくりを、さらに進めなければならないと考えています。

### 急坂を前に

芦屋市議会議長 村上 邦雄



市議会議員一同、謹んで新年のごあいさつを申しあげます。

昭和も五十年を経過して、新たな一年を迎え、まことに感慨深いものがございます。幾山河を越えて来て、今、目の前に見るのも平坦な道ではない、登り降りの何れにせよ、歩むのは急坂です。

財政の極度の窮迫、これに依る行政の萎縮と硬直、所詮は国の政策や国際的景況にも左右されるものといえ、まことに憂慮にたえぬものがあります。国と地方公共団体との間の税制や事務の配分に

まず、快適な生活環境の整備と保全に つとめ、下水道事業の促進を図るとともに、公害に万全の配慮をはらった近代的な新清掃工場の建設に着工いたします。健康で文化的な人間環境づくりを推進するうえで、市民福祉の充実や社会教育、市民文化活動の場として建設を進めていたした福祉文化センターがオープンする運びとなります。また、昨年竣工した芦屋浜埋立地に新しいまちづくりもはじまります。

### 勇断をもって対処

芦屋市長 松永精一郎

いま芦屋市は、いろいろの面で多くの課題に直面しています。住宅都市としてすぐれた環境をもつ芦屋市の百年の大計をあやまらな

いようみきわめ、明るい未来へ通ずる道の基礎がためのため、勇断をもって対処する所存でございます。

おわりに、市民のみなさまのご健康とご多幸をお祈りし、年頭のごあいさつをいたします。

ついでに抜本的な改革が必要で、議員一同も、要路へのアピールを続ける所存です。

市長部局は、この三月で終わる昭和五十年年度の決算で、累積赤字を十二億五千万円以下、すなわち、「準禁治産者」に転落しないよう懸命に補正中です。また四月からはじまる昭和五十一年年度の予算を、単年度でトントンに、累積赤字を増やさないように、苦心の編成中です。議員一同これを注視し審議審査を通じて、適正な決定をしたいと存じています。

俗に、本年は、「昇龍」の年ですとか。しかし、しばらくは淵に潜まざるを得ないでしょう。

市民の皆さまのご理解とご鞭撻を希い、ご健康をお祈りいたします。

ご成人おめでとう  
ございます

## 新成人を

## 祝う会

ことしの対象者は、昭和30年4月2日～昭和31年4月1日までに生まれた人です (外人登録者も含む)

とき 1月15日 (成人の日) 午前10時～正午

ところ ルナ・ホール

- 記念式
- 青年からの提言
- 記念講演 「大地に立って生きること」  
一部落の現実から  
市立上宮川会館館長 山口 富造氏
- 合唱 「一日になんども」参加者全員

# 水道料金改正(案)を 市議会に提案

## 限界にきた水道事業の経営

現在、市民のみなさんにお支払い願っている水道の使用料金は、昭和四十四年以降約七年間同じ料金であり、四十四年度から四十八年度までの五年間の経営計画に基づいたものです。

この五年間は、ほぼ計画どおり順調に経営がなされましたが、四十八年度後半のオイルショックの影響および四十四年度の料金改定の際、それまでの赤字約三千万円をたな上げして計算したこともあって、約五千万円の累積赤字を残して終了しました。

四十九年度からは、新しい経営計画に基づいて料金改定を行ない、水道事業の経営を行なうべきでしたが、当時は電力、ガス、交通などの公共料金が相次いで値上げされたため、市長は市民の経済生活を考慮し、政策的に水道料金の改定を見送りました。この結果、四十九年度末には単年度で約一億五千万円の大幅な赤字が生じました。これはインフレの影響による諸物

## 水道事業経営審議会の設置

市はこの危機を打開するため、昨年十一月に、水道事業経営審議会を設置し、「本市の水道事業経営のあり方」について、知識経験者、市民代表の次の方々に委員をお願いし意見を求めました。

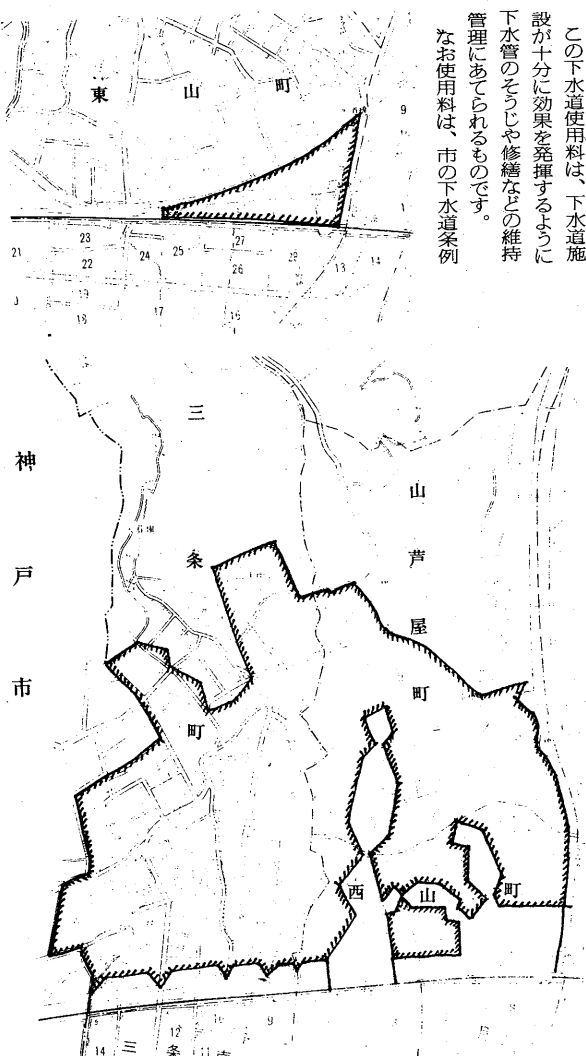
審議会はその後一か月間、総会を四回、専門委員会を十一回開催し、慎重に審議を重ねた結果、意見を取りまとめ、十二月十六日に市長に対し答申を行ないました。

**答申の内容**

答申の内容を要約しますと、まず基本的な問題として、「今日の

## 三条町など四町の一部で 下水道使用料を徴収

左図は、昨年の五月一日から下水道が使用できるようになった区域です。市では、この区域の家庭を対象に、昭和五十年十二月分から下水道使用料をいたぐることになりました。



## 下水道使用料金表

基本排水量	1か月 10m <sup>3</sup> まで
基本使用料	40円
超過排水量	基本排水量をこえるもの 1m <sup>3</sup> につき
超過使用料	4円

約三億円、累積赤字は約五億円の巨額に達する見込みです。この額は、年間水道料金収入の約二倍に相当する額で、現在では経営運営の資金にもこと欠くまでに至り、このまま推移すれば、水道事業本来の使命である市民への「安定した水の供給」が危ぶまれるほど深刻化しています。

## 水道料金改正表(案)

種別	基本料金		従量料金		
	基本水量	金額	第1段料金 (1m <sup>3</sup> につき)	第2段料金 (1m <sup>3</sup> につき)	第3段料金 (1m <sup>3</sup> につき)
(1種) 専用家事用	10m <sup>3</sup>	400円	総使用水量10m <sup>3</sup> をこえ20m <sup>3</sup> まで 70円	総使用水量20m <sup>3</sup> をこえ30m <sup>3</sup> まで 75円	総使用水量30m <sup>3</sup> をこえる分 90円
(2種) 共用家事用	10m <sup>3</sup>	200円	35円	40円	45円
(3種) 業務用	10m <sup>3</sup>	400円	80円	総使用水量20m <sup>3</sup> をこえ150m <sup>3</sup> まで 110円	総使用水量150m <sup>3</sup> をこえる分 135円
(4種) 営業用	10m <sup>3</sup>	400円	80円	総使用水量20m <sup>3</sup> をこえ100m <sup>3</sup> まで 110円	総使用水量100m <sup>3</sup> をこえる分 140円
(5種) 公衆浴場用	10m <sup>3</sup>	400円	総使用水量10m <sup>3</sup> をこえ500m <sup>3</sup> まで 40円	500m <sup>3</sup> をこえる分 45円	
(6種) さん水用	10m <sup>3</sup>	800円	総使用水量10m <sup>3</sup> をこえ20m <sup>3</sup> まで 80円	総使用水量20m <sup>3</sup> をこえ30m <sup>3</sup> まで 90円	総使用水量30m <sup>3</sup> をこえる分 150円
(7種) 臨時・娯楽用	5m <sup>3</sup>	2,000円	5m <sup>3</sup> をこえる分 400円		

## 水道料金の改正(案)

市はこの答申をうけ、答申の趣旨を尊重して、水道料金の改正(案)を、十二月二十四日の市議会に上程しました。

改正(案)は、五十一年二月から五十四年三月までの経営計画に基づいたもので、平均引上げ率は、一四・六パーセントとなっています。

## 水道事業経営審議会委員

- 松島諒吉(大阪大学教授) 会長・専門委員
- 柏井敏雄(関西学院大学名誉教授) 専門委員
- 原田敏丸(大阪大学教授) 専門委員
- 米原厚七郎(大阪大学教授) 専門委員
- 村津清一(神戸新聞論説委員) 専門委員
- 市民代表
- 武田洋二(地方労働組合協議会議長)
- 中山一(商工会会長)
- 小谷保之(町内自治組織連合会副会長)
- 小峯シマ子(消費者協会理事)
- 天野照子(消費者協会副会長)
- 川井千鶴子(母親連絡会会長)
- 広瀬吉彦(青年会議所副理事長)
- 市職員
- 寺門嘉門(企画部長)

## 赤い羽根共同募金報告

### 目標額を大幅に上まわり終了

昨年十月に行なわれた赤い羽根十三回という結果を残し、終わら根共同募金は、みなさまのあたたかい善意により、本年度の目標額四百八十二万五千三百一十円を大幅に上まわる五百二十九万九千七百七

## ルナ・ホール

物内  
あつ旋いたします

市内在住の六十才以上のおとしよりのかたで、再就職を希望されるかたは「高令者無料職業紹介巡回相談所」をご利用ください。それぞれの希望と能力に応じた適職のあつ旋、その他生活上の問題についてご相談に応じます。

▽一月の巡回相談日：一月十六日(金)午後一時～四時

▽場所：市役所分庁舎一階

▽問合せ：芦屋市社会福祉協議会事務局(電話②二二二) 内線五八〇、五八一へ。

なお、この巡回相談日以外の日には、担当地区の民生委員さん宅で開設している「心配ごと相談所」窓口、または市社会福祉協議会事務局で相談をお受けしておりますのでご利用ください。

## 第16回 芦屋市民かるた大会

- とき/昭和五十一年一月十一日(日)12時～17時
- ところ/芦屋市民センター
- 参加資格/芦屋市民および市内在住の学生
- 参加金/100円
- 申込方法/(1)大会当日は会場受付へ(12時～13時まで)
- (2)前日までは市立公民館(業平町8-24 市民センター内 電話④4995)へ
- 競技方法/大会当日に詳しく説明します
- 主催/芦屋かるた同好会
- 後援/芦屋市立公民館

- とき/1月18日(日)午前10時から
- ところ/芦屋市民センター
- 参加資格/市内在住・在勤者
- 参加金/500円
- 申込方法/(1)当日は午前9時から10時までに会場受付
- (2)前日の午後5時までは市民センターへ
- 競技方法/A組～D組の4組にわかれて手合せします
- 主催/芦屋市民センター、芦屋囲碁協会

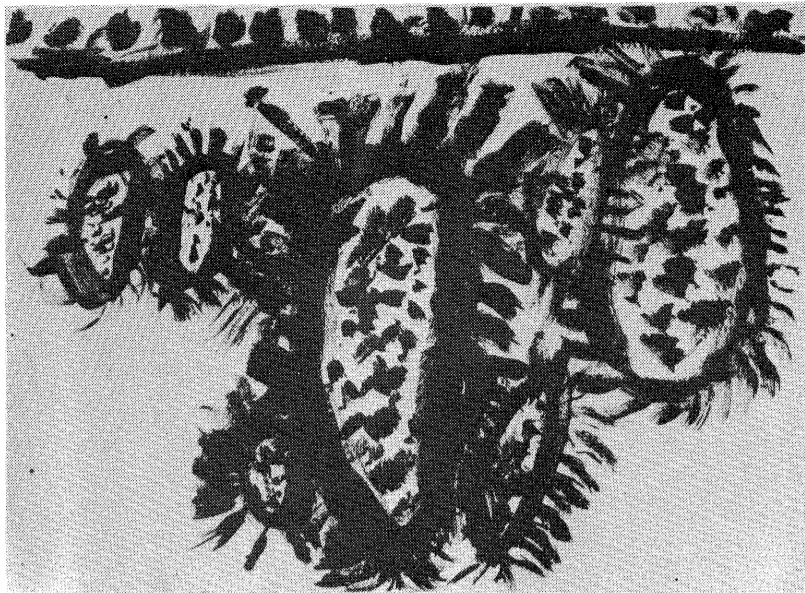
## 第18回市民囲碁大会

## ヘルシンキ大学 男声合唱団

- とき/1月20日(火)18時から
- ところ/ルナ・ホール
- 入場料/700円(前売・当日とも)
- 前売発売所/芦屋市民センター内売店(0797④1011)
- 関西学院グリーンクラブ(0798②6471)
- 主催/芦屋市、芦屋市ルナ・ホール協会
- 後援/フィンランド大使館



おいもほり <5才・女子> ほら見て、わたしの、こんな大きなおいもよ。ちびいもちゃんもあるよ



かれ葉

<小学校四年・女子>

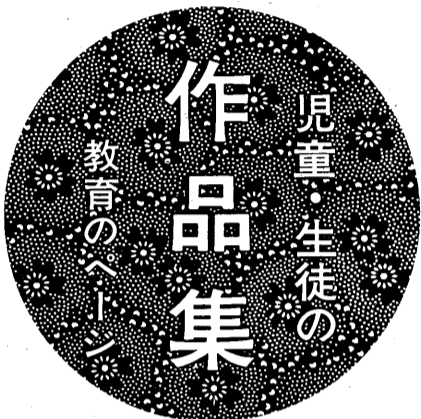
「ビュービュー」  
風がふく  
学校の運動場の 上の木から  
かれ葉が たくさん おちる  
そうじの時間に  
みんなでかれ葉を あつめる  
山もりいっぱいかれ葉が あつまる  
男子が もってきたいれものに  
いっぱい入れてもまだまだ足りない  
そんな毎日が 続いた  
ある日 木を 見上げた  
前は あんなに葉っぱが ついていたのに  
今 見上げてみると  
上の方に少ししか  
葉っぱはついていなかった  
わたしは  
「かわいそうに さむいだらうな」と 思った

習字 <高校三年・男子>  
秋の夜半桂花の香  
あきよるのよんけいげのかほ

オセロ

<小学校四年・男子>

ひまがあつたら  
おかあさんと オセロをする  
いつもぼくが勝つのに  
「オセロしよう」と あきずにくる  
おかあさんは いつもへまをする  
へまを利用して いつも勝つ  
いつも大差で勝つ  
相手にならない  
ぼくには 勝つための作戦もある  
おかあさんにぎょうさんとらせて  
「しまった」と言いながら  
心の中では「作戦成功」と思っている  
というのは  
取らせた数の何倍にも  
取り返せる方法があるからだ  
おかあさんは なぜ  
「オセロしよう」と くるのだろうか  
オセロが好きか それとも  
ぼくと遊びたいからかな



俳句

<中学校二年・女子>  
まつたけや一生一度の秋の味  
<中学校二年・男子>  
冬の夜門下の光かすみけり  
<中学校二年・女子>  
七・五・三子供よろこぶちとせあめ

せんせいのかお <3才・男子>



なくしたの  
なにかと いえば  
こくごの本よ  
わたしが あとで  
よもうとおもって だしてたの  
よもうとおもって  
へやへ いったけれど なかったの  
いっしょうけんめい さがしたの  
つくえのひきだし つくえの上  
こたつどころ おふとんの下  
でも なかったの

なくした本

<小学校一年・女子>



おいもほり <5才・男子> ぎゅっひゅったら、大きいのが小さいのがいっぱい出てきたよ

そして

「わあっ」  
と なきだして しまったの  
おもちゃの ひきだしを あけたら  
やっと 見つかったの  
こんどから へんじを してね

習字 <中学校三年・女子>

ままとわたしのけんか

<小学一年・女子>

よるのこはんのとき  
わたしが おそくこはんをたべると  
ままがおこる  
「わかってませー おくさん」  
ていいたら  
「きょう につきにかいとさなさい」  
てままがいう  
そのとき  
「なによー ままぶたー」  
ておもう  
先生は  
いもうとやおにいちゃんと  
大けんかをするの  
きつと  
先生はまけるでしょう  
先生のままは どうするの

宿題

<小学校六年・女子>

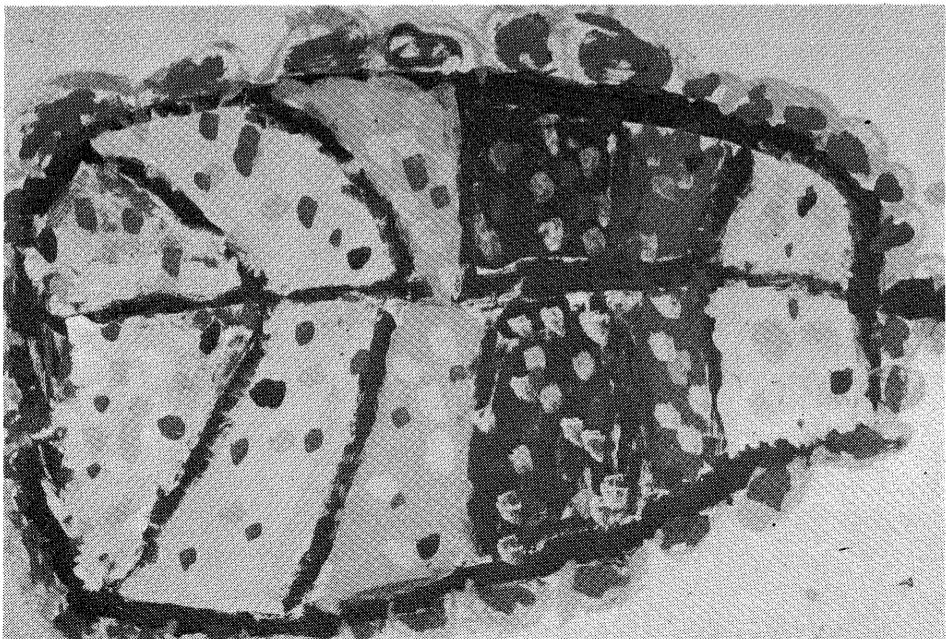
つくえに向って  
鉛筆を持つ  
考える  
でも いらいらして  
なかなかできない  
ひき出しから  
アメを出す  
あまずっぱい味が  
口いっぱい広がる  
「おちつけ」  
「おちつけ」  
「あつ そうだ」  
一問とける  
どんとんとける  
「やった」と心がはずむ



戦艦

<5才・男子3人がお菓子のあき箱などを使って共同で制作>

新報  
二年  
松影



きれいなはっぱ <5才・女子> つゆほうに美しくそめてもらったはっぱ